

# 評価基準表

科目:卒業研究

プログラム名:情報工学科

| 情報工学科学習<br>教育目標         | 対応するプログラムの<br>学習教育目標                                       | 当該授業科目の<br>達成目標  | F: Failure<br>(0～59点)   | D: Pass<br>(60～69点) | C: Fair<br>(70～79点) | B: Good<br>(80～89点) | A: Excellent<br>(90～100点) | URGCC学習<br>教育目標                      |
|-------------------------|--|--|---|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------------|--------------------------------------|
| [自律性](A)                | 自ら掲げた目標を達成するために計画的にかつ継続的に行動する。                             | (A-1)自ら目標を掲げ、自ら考え、積極的に行動する。<br>(A-2)目標を達成するために計画的にかつ継続的に行動する。  | 【合格基準】研究目的を達成するために計画的かつ継続的に自ら考え行動している<br>【加点項目】<br>・新たな知識・技術を取り入れている<br>・意欲的に取り組んでいる<br>・関連分野についても取り組んでいる                               |                     |                     |                     |                           | 自律性(1)                               |
| [社会理解と<br>協調性](B)       | 学習・研究成果を社会に還元する意義と技術者としての社会に対する責任を理解するとともに、多様な人々と協調して行動する。 | (B-1)地域・国際社会を理解し、技術者としての知識と技術を社会に役立てる意義を理解する。<br>(B-2)技術者としての倫理を修得し、社会に対する責任を自覚する。<br>(B-3)集団の中で共通目標を設定し、それを達成するためのチームワーク力と協調性を修得する。 | 【合格基準】研究テーマに関連する内容が社会に及ぼす影響を理解している【加点項目】<br>・具体的に社会に応用する方法を理解している<br>・安全に社会に応用する方法を理解している<br>・効率的に社会に応用する方法を理解している                      |                     |                     |                     |                           | 社会性(2)<br>地域・国際性<br>(3)              |
| [コミュニケーション<br>能力](C)    | 地域・国際社会で通用するコミュニケーション能力を修得する。                              | (C-1)英語を中心とした外国語による基本的なコミュニケーション能力を修得する。<br><br>(C-2)知識、構想等を論理的に文章・図表等を用いて記述する能力、口頭発表する能力、および討議等を行う能力を修得する。                          | 【合格基準】研究内容を説明し質疑応答に対応できるとともに、図表等を活用し正確な文章で卒業論文を記述できる<br>【加点項目】<br>・適切な手順・手段を用いている<br>・効果的な工夫ができる<br>・わかりやすく説明できる                        |                     |                     |                     |                           | コミュニケーション・スキル(4)                     |
| [基礎学力](D)               | 情報工学分野を継続して学習するための基礎学力を修得する。                               | (D-1)情報工学分野に必要な数学・物理学の基礎学力を身につける。<br>(D-2)数学・物理学を情報工学分野で応用する。  | 【合格基準】研究分野に関連する事象を整理し、論理的に表現できる。<br>【加点項目】<br>・数式またはアルゴリズムで表現できる<br>・研究内容を論理的に展開できる<br>・研究成果の有効性を論理的に証明できる                              |                     |                     |                     |                           | 専門性(7))                              |
| [柔軟性](E)                | 幅広い教養と柔軟な思考力を修得し、複雑な問題に適切に対応する。                            | (E-1)社会科学、人文科学、自然科学の広い領域の教養を修得する。<br>(E-2)幅広い分野の情報や知識を活用し、柔軟に物事を思考する。  | 【合格基準】異なる視点から柔軟に考え、判断を下すことができる<br>【加点項目】<br>・多面的に考えることができる<br>・異なる分野からの観点を取り入れることができる<br>・異なる視点からバランスの取れた判断をすることができる                    |                     |                     |                     |                           | 問題解決力<br>(6)                         |
| [実践性](F)                | [実践性](F)<br>情報工学分野の実践的な技術を修得する                             | (F-1)プログラミング技術を修得する。<br>(F-2)情報工学分野の基本的な技術を修得する。   | 【合格基準】研究成果または研究手段として、プログラム開発、システム開発等を行うことができる<br>【加点項目】<br>・情報技術に関する知識を身につけている<br>・情報技術に関するスキルを身につけている<br>・効率の良いプログラム開発を行うことができる        |                     |                     |                     |                           | 情報リテラシー(5)<br>問題解決力<br>(6)<br>専門性(7) |
| [課題解決<br>能力と創造<br>性](G) | 情報工学の理論及び技術を総合的に活用し、与えられた制約下で創意工夫により課題を解決する。               | (G-1)問題を分析し、モデル化を行い、課題を適切に設定する。<br><br>(G-2)与えられた制約の下で、修得した知識と技術を総合して課題を解決するとともに、解決法を適切な評価尺度で評価する。                                   | 【合格基準】研究テーマに関して、問題を分析し、課題を適切に設定したうえで、関連する技術やシステムを設計・開発することができる<br>【加点項目】<br>・従来の技術やシステムとの違いを理解している<br>・研究成果の有効性を理解している<br>・独力で設計・開発ができる |                     |                     |                     |                           | 問題解決力<br>(6)                         |
| [専門性](H)                | 情報工学分野の専門的な知識を修得する。  | (H-1)情報工学のコア知識を修得する。<br>(H-2)コンピュータシステム系、情報通信系、コンピュータ応用系の領域の知識を修得する。   | 【合格基準】研究テーマに関する分野の専門的な知識を身につけ、その具体的内容を説明することができる<br>【加点項目】<br>・有効性と適用範囲を説明することができる<br>・深い知識を身につけている<br>・周辺分野における専門知識を身につけている            |                     |                     |                     |                           | 専門性(7)                               |